

東日本大震災によるガス事業及びLNG調達への影響について(5月23日時点)

財団法人日本エネルギー経済研究所

大震災の影響で、一時は46万件ものガス供給停止が発生したが、5月17日までに全てが復旧した。LNG基地では、仙台市ガス・港工場が依然として稼働停止しており、復旧は2012年5月までかかる見通しである。東北電力及び東京電力の原子力発電所に加え、中部電力・浜岡原子力発電所が停止となつたことで、2011年度の電力会社によるLNG需要は2009年比で約990～1,220万トン増加することが見込まれる。国際天然ガス市場は比較的落ち着いているものの、中部電力の追加調達がスポットLNG価格にどの程度の影響を及ぼすのかはまだ不透明である。

1. 都市ガス供給

日本ガス協会によると、当初計画されていた16の都市ガス事業者管内における復旧作業を5月3日に完了した。最後まで復旧作業が行われていた石巻ガス管内においては、その後も復旧活動が継続されたが、5月17日に家屋が流失しなかった契約世帯へのガス供給がすべて可能になった。

2. LNG受入基地

LNG受入基地では、仙台市ガス局の港基地が稼働を停止しており、復旧は2012年5月が予定されている。依然として復旧の目途は立っていない。その他の受入基地は全て稼働を継続している。

3. LNG調達

日本エネルギー経済研究所の試算によると、東北電力及び東京電力の原子力発電所に加え、中部電力・浜岡原子力発電所が停止となつたことで、2011年度の電力会社によるLNG需要は2009年度比で約990～1,220万トン増加し、約5,020～5,260万トンに達する。東北電力及び東京電力は、夏季の電力ピーク需要のための必要量を調達済みとされている。一方、浜岡原子力発電所停止が急遽決定されたこともあり、中部電力に関しては夏季の必要分がまだ調達しきれていないとの報道もある。

4. 国際天然ガス市場

米国Henry Hub価格及び大陸欧州でのハブ価格は、それぞれ\$4.2/MMBtu及び\$10/MMBtu前後と前回の報告から大きな動きはない。英国NBP価格は輸入量減少見込みから\$9.4/MMBtuに強含んでいる。アジア向けスポット価格は、浜岡原子力発電所停止決定を受けて、\$13/MMBtuを視野に入れた相場となっている。現在のところは、パニック的な調達や価格暴騰は発生していないが、中部電力の追加調達がスポットLNG価格にどの程度の上方圧力をかけるのかは不透明である。